

Trains and planes seen in Chiba

ちばで見も 電車&飛行機

第1回



● JR成田エクスプレス
(E259系)

● JR房総特急

- ・わかしお
- ・しおさい
- ・さざなみ

(255系、E257系)



千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-14号

成田エクスプレス E259系
総武本線(物井駅~佐倉駅間) 通称「モノサク」にて撮影

都心と成田空港間を結ぶ特急車両「成田エクスプレス」!

▲成田エクスプレス E259系
JR総武本線(物井駅～佐倉駅間)通称「モノサク※」にて撮影

成田エクスプレス E259系

成田エクスプレス(E259系)は、初代253系に代わる空港特急車両として2009年(平成21年)にデビューしました。253系で築いてきた空港特急の代名詞「N'EX(ネックス)」のブランドイメージをベースに、ユニバーサルデザインを採用し、快適性、セキュリティを向上させています。成田エクスプレスは、総武快速線内では最高速度130km/hで走行し、東京駅～空港第2ビル駅間を約1時間で結んでいます。

外観は、白・赤・黒・灰色の4色をベースに、253系で確立されたイメージを継承し、先頭部分の個性的な形状やロゴ配置が斬新で世界的にも高い評価を得ています。デザイン性や機能性に優れたE259系車両は、2010年(平成22年)に、第53回・鉄道友の会ブルーリボン賞、2011年(平成23年)には、第11回・ブルネル賞※を受賞しています。

※ブルネル賞：世界で唯一の鉄道デザイン国際コンペで、鉄道関係の優れたデザインに対して与えられる賞。



▲JR成田線空港支線
(成田駅～空港第2ビル駅間)

初代成田エクスプレス253系が 長野電鉄で活躍!!



▲初代成田エクスプレス
235系車両



▲長野電鉄で活躍する2100系
「愛称・スノーモンキー」車両

長野電鉄の老朽化した2000系の代替として、JR東日本の「成田エクスプレス」として使用されていた235系を長野電鉄が引き取って改造し、デビューしたのが2100系「愛称・スノーモンキー」です。長野電鉄では、A特急・B特急として長野駅と湯田中駅間を往復しています。

長野電鉄では、急勾配や寒冷地対応などが施されていますが、大きな手を加えられておらず、成田エクスプレス時代の雰囲気そのままの形で活躍しています。

※人気撮影地「モノサク」とは?

通称「モノサク」とは、首都圏を代表する鉄道撮影エリアで、JR総武本線物井駅と佐倉駅間にあります。物井の「モノ」と佐倉の「サク」を合わせて「モノサク」と名付けられたと思われます。物井駅から徒歩約15分にある「亀崎踏切」付近のほか、佐倉駅寄りの「寺崎トンネル」辺りも撮影ポイントになっています。

「モノサク」の撮影ポイント近くに、四街道市指定文化財の鉄道遺構が!!

モノサク撮影地の亀崎踏切北側には、四街道市指定文化財の物井川橋梁亀崎橋台跡やJR総武本線の電化により廃止された旧線跡が残されています。

物井川橋梁亀崎橋台は、JR総武本線の前身である私鉄「総武鉄道」が、1894年(明治27年)に千葉県内で最初に開通した(市川～佐倉間)当時に建造したもので、千葉県内最古の鉄道遺構※として、近代土木技術史においてとても貴重なものです。

※遺構(いこう)

昔の都市や建造物の形や構造を知るための手がかりとなる残存物。



▲総武本線旧線跡



▲物井川橋梁亀崎橋台跡



▲しおさい 255系
JR総武本線
(物井駅～佐倉駅間)



▲新宿さざなみ E257系 JR内房線(浜金谷駅～保田駅間)

都心から房総半島の3方向に向かって走る、リゾート列車「房総特急」御三家!

わかしお・しおさい・さざなみ 255系・E257系

房総特急御三家「わかしお」・「さざなみ」・「しおさい」は、255系とE257系の2つの車両で運行されています。東京駅～安房鴨川駅間の外房線を走るのが「わかしお」、東京駅～君津駅間の内房線を走るのが「さざなみ」、東京駅～銚子駅間の総武本線を走るのが「しおさい」です。

255系は、1993年(平成5年)に登場した車両で「BOSO VIEW EXPRESS(房総ビューエクスプレス)」の愛称が付けられています。1993年度には通商産業省(現・経済産業省)のグッドデザイン賞を受賞しています。車体の色は、白地に海をイメージした青と、扉回りは菜の花をイメージした直線的な塗り分けて爽やかな外観になっています。

E257系500番台は、2004年(平成16年)に登場した房総特急用車両で、車体の色は、255系に準じた白地にブルーとイエローに塗り分けられています。

両車両とも、最高速度は130km/hで、JR東日本の特急形電車としては初のVVVFインバータ制御を導入しているほか、乗客のニーズに合わせた機能が多く付けられているので、レジャーからビジネスまで広く利用されています。



▲湊川橋梁を渡る新宿さざなみ E257系 JR内房線(上総湊駅～竹岡駅間)

臨時列車の「新宿さざなみ」は、土・日祝に運行!!

週末や連休を利用して館山方面で楽しむなら、「新宿さざなみ」を利用するのがおすすめです。「新宿さざなみ」は、通常の「さざなみ」の臨時列車として、毎週土日や祝日に「新宿さざなみ1号・4号」として運行しています。新宿駅を出発し、都内2駅、県内の船橋・津田沼・千葉・蘇我・五井・木更津・君津・浜金谷・保田・岩井・富浦の各駅に停車して館山駅に行きます。多くは、E257系9両編成で運行されています。



▲大網白里市の金谷郷のひまわり畑前の陸橋を渡る、わかしお 255系 JR外房線(土気駅～大網駅間)

撮影地でのワンポイント

お目当ての車両が走っている姿を見たり、撮影したりするのは鉄道好きにとっては醍醐味のひとつです。今回ご紹介した人気スポットのひとつである「モノサク」撮影地周囲は、田園地帯で道幅が狭く車のすれ違いが困難な場所です。車で行く場合は、JR物井駅前のパーキングなどに駐車して徒歩で行きましょう。徒歩で散策しながら電車を眺めていると季節の植物や生物に出会ったり、独自の撮影アングルや撮影ポイントを見つけることもできます。



旧国鉄カラーの特急列車を展示保存



▲房総各線の特急列車として活躍した、旧国鉄「クハ183系」車両



▲2両の旧国鉄近郊形電車「113系」



▲旧国鉄フルートレイン「オロネ24形」

いすみ市の鉄道車両保存施設「ポッポの丘」には、クリーム色のボディーに赤い横線で知られ、かつての内房線「さざなみ」、外房線「わかしお」などとして活躍した1972年(昭和47年)と1981年(昭和56)製の旧国鉄183系特急型車両が展示保存されています。特にクハ183-1527は、2015年(平成27年)まで現役で、その後、長野県の車両基地に保管され、やがては廃棄処分される運命でした。それを知った鉄道ファンたちで作った「千葉鉄道車両保存会」が自費で購入し、大型トレーラーを使ってポッポの丘に運び込んだ、保存会の想いが込められた車両です。

「ポッポの丘」の保存車両は、当初いすみ鉄道いすみ204と他2両の3両だけでしたが、現在は旧国鉄車両も充実し、28両が保存されています。

保存車両の中に、寝台列車のフルートレイン、24系寝台客車オハネフ24形、オロネ24形があり、この2両は



▲いすみ鉄道いすみ204 (カフェTKGとして活躍中!)

車内照明と車内放送設備が使用できる状態で保存されています。オハネフ24形の車掌室から車内に向けて車掌としての放送体験を行うこともできます。(土日祝のスタッフが在る時に限ります)



▲カラフルなボディーカラーの保存鉄道車両

- 営業時間 / 10:00 ~ 16:00 ●入場料金 / 無料
- 駐車料金 / バイク1台500円、乗用車1台1,000円
- ※保存鉄道車両の見学または、カフェTKGを利用する場合に適用されます。
- 定休日 / 毎週火曜日・水曜日・木曜日

※くわしくはWebサイトをご覧ください。
<https://www.popponooka.com/>

●問い合わせ / **ポッポの丘**
いすみ市作田1298 TEL.0470-62-6751

京葉銀行ショーウィンドーギャラリー



▲本店ウィンドーギャラリー

京葉銀行ショーウィンドーギャラリー(本店・千葉みなと本部)では、「日本の伝統」として、これまでさまざまな作品をご紹介してまいりました。

長く使うことを前提に、その地域の自然素材で作られる伝統工芸品は、持続可能な社会への取り組みにも繋がっています。

今年度は先人たちの技を受け継ぎながら、新しい感性で未来へとつないでいく工芸品を紹介しておりますので、お近くにお越しの際は、ぜひお寄りください。

現在開催中のテーマ ▶ **琢磨(たくま)** 3月末日まで



▲刷毛(千葉県)



▲津軽塗(青森県)



▲大阪浪華錫器(大阪府)



▲江戸からかみ(東京都)



▲山形鑄物(山形県)

※Webサイトでもご案内しています。

本店ショーウィンドーギャラリー

<https://www.keiyobank.co.jp/ir/csr/showwindow/>

千葉みなと本部ショーウィンドーギャラリー

<https://www.keiyobank.co.jp/ir/csr/showwindow-chibaminato/>

●本店

千葉市中央区富士見1-11-11

●千葉みなと本部

千葉市中央区千葉港5-45

「ちばで見る電車&飛行機」今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「ちばで見る電車&飛行機」の第1回をご覧ください。



今回、房総特急列車3種類を紹介した以外に、2015年(平成27年)3月のダイヤ改正で、定期運行が取り止めになった特急列車があります。主に東京駅〜鹿島神宮駅間を走っていた特急列車ですが、愛称名はなんでしょうか？ 次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① いたこ
- ② あやめ
- ③ かしま

取材協力・写真提供・撮影協力 / ポッポの丘

確かな「きずな」を、未来へ。



京葉銀行

ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「ちばで見る電車&飛行機」を配信しています。

LINE 公式アカウント



正解は→② あやめ

2022.1 (次回発行 / 2022年2月20日)